

2015年7月22日

プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

日興アセット、UCITS ファンドのラインアップを強化

日興アセットマネジメント株式会社(以下、「日興アセット」)は、高度な投資手法を求める欧州・中東およびアフリカ地域(EMEA)の投資家のニーズを背景に、UCITS に適合したファンド(UCITS ファンド)のラインアップを強化します。

UCITS は、Undertaking for Collective Investment in Transferable Securities の頭文字をとったもので、欧州連合(EU)の法律に従って設立・運用された UCITS ファンドは近年、クロスボーダー投資を志向する投資家の間で注目を集めています。The European Fund and Asset Management Association (EFAMA)¹によると、UCITS ファンドの運用資産残高合計は2015年3月末時点で8兆2700億ユーロにのぼると試算されています。

日興アセットの専務執行役員兼営業グローバルヘッド(機関投資家営業、海外リテール営業担当)の小山卓也は次のように述べています。「UCITS を利用することによって EMEA ならびにその他の地域のお客様は、より簡単かつ合理的にグローバル市場にアクセスすることができます。UCITS ファンドのラインアップ拡張は、日興アセットが EMEA でビジネスを拡大するうえで重要な戦略であると位置付けています」。

今回、日興アセットは新たに「グローバル株式」、「グローバルマルチアセット運用」の計2本の UCITS ファンドを組成しました。これにより、グローバル投資家は先進国および新興国市場への投資機会をより幅広くアクセスできるようになります。

日興アセットの運用グローバルヘッドであるユーミン・ワンは、「日興アセットは、日本、そしてアジアを代表するグローバルな資産運用会社として、洗練された投資家の投資ニーズにお応えする投資戦略をご提供しています。今後、さらに広く世界中の投資家の皆様に高度な投資ソリューションを提供してまいります」と述べています。

過去2年間、日興アセットは戦略的に運用体制の強化を進めてきました。英・エジンバラに本拠を置きウィリアム・ローが率いるグローバルアクティブ株式運用チームを採用したほか、これまでにシンガポールでアル・クラークをヘッドとするマルチアセット運用チームを立ち上げ、同じくシンガポールでピーター・サルトリをヘッドとするアジア株式運用チームを獲得しています。

今後、日興アセットは、旺盛なグローバル投資家の需要にお応えすべく、UCITS ファンドのラインアップをさらに拡充する計画です。

以上

¹ European Fund and Asset Management Association Quarterly Statistical Release June 2015

日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメントは、日本そしてアジアを代表するグローバルな運用会社であり、世界の投資家の皆様に一流の投資ソリューションを提供しています。世界 30 以上の国から集まる豊富な人材を世界 12 カ国に擁し、290 名超*の運用プロフェッショナルが 19 兆円余り**の資産を運用しています。55 年の実践を経た投資哲学をアジアから世界へ広げていきます。
(上記データはすべて 2015 年 3 月末現在)

* 日興アセットマネジメント株式会社、連結子会社および持分法適用関連会社の役社員を含む。

** 日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の 2015 年 3 月末現在のデータ

日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 368 号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会